

No Bees, No Future !

ハチは敵か、



Are bees enemies or friends?

友達か？展



奈良市ならまちセンター：1Fギャラリー



7月2日(水)～21日(月祝)

10:00～16:00(入場無料)

奈良県奈良市東寺林町3-8 近鉄奈良駅徒歩12分

▶「ハチ宿アートへの道」ドキュメンタリー
都度上映

▶ハチ宿づくりのワークショップ

&花バチクイズ：対象は、一般、親子

①7月6日(日曜)、②7月20日(日曜)

共に、13:00～15:00

▶詳細内容

↓【お申込方法】



主催：NPO法人 ビーフォレスト・クラブ

共催：奈良市・奈良市ならまちセンター

(一般財団法人 奈良市総合財団)

企画：コトナラボアートコーディネーター

協力：CENTER CAFE



花バチ増やそう！

Let's increase native bees!

ハチ宿作ろう！

Let's build bee habitats!

▶【お問い合わせ】

NPO法人

ビーフォレスト・クラブ

TEL. 0742-31-7755

<https://www.beeforest.jp/>

ならまちセンター

TEL. 0742-27-1151



NPO Bee Forest Club. in Japan





No Bees, No Future !



花バチと考える 私たちの未来

あなたに質問です。

Q1：ハチは怖いと思いますか？

Q2：なぜそう思いますか？

Q3：知っているハチの名前をいくつか言えますか？

これらの質問を、小学1年生にも投げかけてみました。

答えは——大人も子どもも、ほとんど同じでした。

「ハチは怖い。刺されそう。嫌い。知っているのはスズメバチやミツバチぐらい……」

でも、日本には約4,000種ものハチが生息しており、そのほとんどは人を刺さず、むしろ自然を支える存在です。

たとえば、花の蜜や花粉を集めながら、受粉という大切な仕事をする「花バチ」たち。

日本ミツバチ、クマバチ、マルハナバチ、マメコバチ、ツツハナバチなど、多くの花バチは、私たちの食や自然を支える受粉のプロフェッショナルです。

もし、花バチがいなくなったら——

約8割の植物の多くは受粉できず、実をつけず、種を残せません。

野菜や果物も減り、動物たちの食物連鎖も崩れ、私たちの暮らしが危機にさらされます。

小さなハチが、未来を支えているのです。

しかし今、花バチは急速に姿を消しています。

山に木を植えるだけでは、森はできません。

森の命の循環には、花バチのような小さな命が必要なのです。

この展示では、

「ハチは本当に怖いのか？」

「花バチってどんな存在なのか？」

「なぜ今、花バチを守る必要があるのか？」

——そんな問いを、一緒に考えていきます。

未来を守る第一歩は、「知ること」から。

花バチを増やそう！ ハチ宿を作ろう！

あなたの行動が、自然を回復させる力になります。



第3回 ハチ宿アート展 Biodiversity EcoArt

2025年10月22日～11月2日

奈良市ならまちセンター・エントランスで開催。

NPO法人 ビーフォレスト・クラブ 代表 吉川 浩



←ハチ宿

・・・受粉する花バチたち・・・

ハチ宿→

